

見どころ案内

「慶祝 天皇陛下御在位三十年」

(2月24日は入園無料 [駐車料は必要])

ミチノクフクジュソウ (キンポウゲ科)

「春の妖精」が見頃です。以前はフクジュソウ1種にまとめていましたが、最近では4種類に分けることが一般的です。ロックガーデンの近くでは、セツブンソウ・スノーフレークなども咲いています。

シクラメン・コウム

(サクラソウ科)

春咲きの原種シクラメンです。丸みを帯びたハート形の葉が特徴的です。シクラメンの語源は、ギリシャ語の kyklos(円)で花後に花茎がくるくる巻くことに因みます。

カラコエのなかま

(ベンケイソウ科)

今、サポテン温室がとってもおもしろい！サポテン温室ではカラコエの仲間が花盛り！同じ属内でも様々な形・色・姿のカラコエを見比べながら御覧いただけます。

クリスマスローズ

(キンポウゲ科)

ベゴニア温室外の南側花壇ではオリエント系交雑種が見頃です。これから春に向けてバラエティーに富んだ花色で彩られます。

ジャノメエリカ (ツツジ科)

小さく可憐な花がたくさん咲いています。黒い葯が蛇の目に見えることが和名の由来です。別名はクロシベ(黒蕊)エリカ。

ウメ‘藤牡丹枝垂れ’ (バラ科)

愛称は“登竜梅”。日本庭園の名物、枝垂れウメが咲き始めました。八重咲の枝垂れ梅の代表的な種類です。豊後性(ぶんごしょう)といって、アンズとの雑種性の強い系統になります。

ハナモモ‘雛遊び’

(バラ科)

広島市で発見された早咲きのモモ園芸品種。今年は暖冬の影響で、昨年より早く一重で淡いピンク色の花を咲かせました。

シナマンサク

(マンサク科)

中国原産で、1~3月に金色のリボン状の花を咲かせます。中央部は暗赤色です。開花時には、前年の古い葉が落ちずに残ります。

カンザクラ (バラ科)

斜面を見上げると、早咲きの寒桜が見頃です。ヤマザクラとカンヒザクラの雑種と考えられています。

カワヅザクラ (バラ科)

河津とは静岡県の名地名です。オオシマザクラとカンヒザクラの自然交雑種と考えられています。他の桜に先駆けて、つぼみが綻びつつあります。

バンクスマツ (マツ科)

北米原産の二葉松。葉の長さは2~4cmとマツのなかまでは最も短いです。球果(松かさ)は2年以上かけて成熟しますが、茶色になってもあまり開きません。山火事の時に裂開して種子を散布すると言われています。

